

公表

事業所における自己評価総括表(放課後デイサービス)

○事業所名	Blossamジュニア 若葉台はるひ野教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<職員間連携・チーム一体となった療育支援> 保護者のニーズと児童の課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画、支援プログラムを作成しています。受け入れ前・受け入れ後にミーティングを実施し、児童の状況や変化を共有し今後の支援に活かす仕組みを構築しています。	日々のミーティングを通じて児童の小さな変化、発達状況を常に把握しています。個々に合わせた支援を提供できるように職員間の情報共有を徹底しています。	事例検討の実施・強化を通して、職員のレベルアップ・知見の平準化を図り、チームとしての支援の質を高めることを目指します。
2	<利用者の安心につながるオープンな支援の提供> 児童の発達状況に合わせて型にはめず、よりオープンな形で児童支援を提供しています。	集団活動において児童自身が決める「自主活動」プログラムを提供しています。それぞれの児童が意見を出し、話し合いをすることにより、協調性や社会性を育んでいます。職員は必要以上に介入せず、児童同士の関わりを大切にしています。	他教室での成功事例や失敗事例も参考に、児童に合わせたプログラムを策定していきます。また、そのプログラム作成を通じて各職員・チームのスキルアップを目指します。
3	<利用者・児童中心の支援、価値提供> 保護者の意向・児童の意見を尊重し、ご家族に最善の利益がもたらされることを常にチーム全体で考え、職員全員が行動できるスキル、環境を整えていきます。	保護者との定期的な面談、HUGを通じて支援計画書に対する進捗状況や変化などをお知らせしながら適宜情報共有しています。また、児童の意見、思い、感情変化など日々の様子を観察し、児童がやりたいと感じ、楽しく過ごすことのできる環境を整えています。	保護者、児童とのコミュニケーションを引き続き強化しています。家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の提供を今後検討していきたいと思えます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<経験・知見の蓄積、有効活用> 多様化する保護者・児童のニーズにスピーディーに対応できる知見の有効活用・職員のスキルを組織的に活かせる土台作りを進めていく必要があります。	蓄積された経験・知見が効果的に引き継がれないことで、職員の退職につながり、土台作りがうまく進まない課題があります。	一定の到達計画等を作り、進捗状況を定期的にチェックしながら適宜見直しを図ります。生産性を高めていく業務改善も行いながら、スタッフの知見・経験を活かすため職員の仕組み作りの強化を図ります。
2	<家族全体への対応、支援> 兄弟支援や家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の提供を更に強化していく必要があります。	職員の人員不足により、プログラムを十分に実施できていない状況です。	連携強化や外部資源の柔軟な活用を図りながら、事業所内の生産性を上げ、家族支援プログラムなど順次開始出来るよう、業務改善を段階的に行っていきます。
3	<外部・地域資源の活用> 学校行事や外部団体、事業者のイベントなど十分活用できていないのが現状です。有用で多面的な児童支援も発達には重要ですのでイベントを効果的に児童支援プログラムへ反映させていただきます。	職員の人員不足により、プログラムを十分に実施できていない状況です。	一部保護者からは、「特に必要性を感じない」等の意見があるものの学校行事への参画から今後検討していきたいと思えます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後デイサービス)

事業所名	プロッサムジュニア若葉台はるひ野教室 放課後等デイサービス
------	-------------------------------

公表日 2025年3月20日

利用児童数 47

回収数 33

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	3	0	6	室内でスポーツを行うには少し狭いのではないのでしょうか？ 部屋も2つあるから子供が過ごしやすそう。 いつも何人で活動しているかわからないため、活動スペースが確保されているが不明 集団と個別の部屋が分かれているのはとてもよい。 集団活動には若干狭い気がします。	集団活動ができる大きさの部屋を2つ備えており、身体を動かす活動も行っております。 また、施設見学や活動見学もお受けしますので、ぜひ、一度お越しください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2	0	10	きちんと見てもらえて安心します。 把握できていないため不明。また、現在の所属している職員の方の人数とお名前がわからない。子どもと話していてもかみ合わないことがある。 送迎の際に必ず直ぐに対応してもらえらるため安心。電話も繋がらないことがない。	職員の配置人数は活動内容や児童の人数、また発達を鑑みて、概ね3~6名程度で支援を行っております。児童指導員、保育士、公認心理師等の職員がおります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1	0	4	活動の部屋を把握できていないためよくわからない 集団、個別の空間に対して、何をやる空間か子供が理解していた。個別の部屋の配置がしっかりしていた。集団の部屋は見学の時しか見たことがないため分からない。	生活空間はシンプルで分かりやすい構造となっており、大人用トイレに手すりを設置するなど工夫をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	3	部屋を早くしていないため活動に合わせた空間かは不明 明るく清潔な印象を最初から受けた。見学した他の事業所と比較してもトップレベル。	引き続き、心地よいと感じる環境を整えて参ります。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	3	0	3	個別活動がなくなってしまったため 個別指導が職員の不足により行われていないので、難しいとは思いますがなるべく早く再開していただけると有難いです。 個別支援計画の作成、面談、フィードバックがしっかりしている。よく子供を観察して対応頂いていると思います。	個別活動が中止となり、大変ご迷惑をかけております。引き続き、個別支援計画書の支援目標を柱として、お子様の特性に応じた支援を行って参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	3	0	4	HUGUにより活動内容を把握できる。	2024年11月にHPに公開しております。発達の5領域に沿った支援を行って参ります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	2	0	0	面談があるため相互理解の上で作成されていると感じる。	個別支援計画書更新の前には、必ず保護者様と面談をして、情報共有やアセスメントを行っております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	2	0	2	認識がなかったため。	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」に基づき、利用者様のニーズと照らし合わせながら支援内容を設定しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	3	0	3	ご意見無し	支援内容やめあてを明確にしながら、引き続き、保護者さまにお伝えして参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	4	1	3	最近子供たちの意見を尊重し、多数決で活動が決まるケースが多 いと感じる 最近の活動プログラムは「みんなで話し合って決める」が多 く思う。 遊びの活動を提供してほしい。 最近を外に出ることが多い印象のため。 最近を外に出ることが多い印象のため。活動内容について必ず目 当てを設定している所は安心します。	「みんなで話し合って決める」ことは、子どもたちの主体性や自主性を支援しております。必要に応じて、指導員も話し合いに入っております。季節なども鑑みながら、多様なプログラムを引き続き用意して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	4	9	10	必要性を感じない	今後、地域との交流を検討して参ります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	1	1	0	ご意見無し	引き続き、保護者様に分かりやすい説明を心がけて参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	1	2	ご意見無し	個別支援計画書更新の時期には、計画内容と支援内容の説明を行っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	7	7	11	提供された記憶はない(問のいいえが選択できなかった)	今後、検討して参ります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1	1	0	ご意見無し	今後いろいろな方法で、保護者さまとコミュニケーションを深めながら共通理解を深めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	3	1	0	ご意見無し	日頃のコミュニケーション及び「家族支援加算」を算定のもと、ご相談やご助言を行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	2	1	0	ご意見無し	引き続き、利用者様に寄り添いながら支援を行って参ります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	18	9	必要性を感じない	今後、検討して参ります。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	3	2	4	ご意見無し	適宜、家族支援加算算定のもと、相談援助をお受けすることができることをお伝えしております。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	2	1	0	ご意見無し	日頃のコミュニケーションを大切にして、意思の疎通や情報伝達に努めて参ります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	1	0	2	ご意見無し	週に1回程度、ブログを配信しております。また、支援後のサービス提供記録では写真を添付するなどの情報発信に努めております。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	2	ご意見無し	週に1回程度、ブログを配信しております。また、支援後のサービス提供記録では写真を添付するなどの情報発信に努めております。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	0	0	10	ご意見無し	各種マニュアルを設置しております。また、年に複数回、避難訓練を実施しております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	6	避難訓練は行われているようですが、親への引き渡しについての訓練はされていないと思う。	年に数回、火災と地震を想定した避難訓練を実施しております。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	0	8		今後、安全計画の周知をして参ります。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	0	5		契約時に説明しておりますが、怪我等を含む事故が発生した場合、真摯に対応して参ります。
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	31	1	0	0		利用者様に安心してご利用いただけるよう、引き続き努めて参ります。
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	4	0	0	行きたくないと言ったことはありません	「楽しかった」と思ってもらえるよう、支援内容及び支援方法の充実、物的環境及び人的環境の整備に努めて参ります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	27	4	1	0	事業所の支援時間がもう少し長いと嬉しいです 子供も楽しんで通所しており、様々な支援をしてもらえて概ね満足していますが、個別療育の早期再開を希望します。 個別療育の再開をお願いします。	利用者様に満足いただけるよう、スタッフ全員、尽力して参ります。

公表

事業所における自己評価結果(放課後デイサービス)

事業所名	プロッサムジュニア若葉台はるひ野教室 放課後等デイサービス				公表日	2025年 3 月 20 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	2	利用児の年齢や個々の発達に応じて、2つの部屋を利用して、2つのグループに分けて支援をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	7	利用児の発達に応じて、集団活動ではありませんが、個別的に対応している場合もあります。	適切な人員配置をして参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	5	トイレに可動式の手すりを設置しております。また、床は玄関からフラットになっています。生活空間は子どもに視覚的にわかりやすく提示しています。	活動プログラム等、お子様に合わせてより視覚化し、理解しやすいようにして参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	3	環境整備を進めています。各部屋は必要最低限の物のみで、刺激が少ない環境となっております。掃除は、日に複数回しており、消毒等も実施しています。	個別指導室に教材を置いているため、適宜見直しを進め、子どもたちが活動しやすい空間を整備して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	3	気持ちを落ち着かせるため、あるいは一人で過ごしたい時など、個別の部屋や相談室を利用しています。	現在、環境整備を行っております。個別指導を行う部屋は教材・おもちゃ等の整理が不十分で、ヒヤリハットを誘発する恐れがあるため、今現在、子どもたちは使用していません。早急に環境整備を進めて参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	6	環境整備においては、日々進捗状況を共有し、PDCAサイクルを循環させています。	各人・組織々々において目標設定と進捗管理が不十分の為、組織力を活かした生産性向上の取り組みと付加価値の創出度に少々課題あります。組織体系の見直し、各人の職責の見える化、職員全員に共有・目標に対する進捗管理を強化して参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	保護者様からのご意見はスタッフ間で周知し、必要に応じて話し合いを設けています。適宜、ご意見の改善工夫をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	適宜話し合いが行われています。	今後、職員面談の回数を増やしてまいります。その中で、業務として改善できる箇所を拾い上げ、職員間で話し合いを設けてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	8		第三者評価については今後検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	3	法定基準に基づいて行われています。また、個人の目的に合わせての研修やプロッサム本部からの定期的な研修を実施しています。	事業所単位でも研修が実施できるよう年間計画に組み入れて参ります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1	2024年11月に「2024年度 5領域による支援プログラム」の公表をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	0	保護者様にアセスメントシートを事前に記入していただき、ニーズを拾っています。	今後、会議の内容に事例検討及びケース会議を組み込み、業務時間等を工夫して参ります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	3	毎月、定期的に会議を行っています。	サービス提供会議が安定的に実施できるよう、業務時間等工夫してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	2	個別支援計画書は一括してファイリングすることで、支援前にはスタッフが計画書の内容を確認できるように工夫しています。	支援前後のスタッフミーティングの時間を利用して、サービス提供会議や個別支援計画書の共有を行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3		記録や日報の確認、リーダーからのきょうゆうなども含め、利用時の配慮事項等を各スタッフが把握していくことを周知して参ります。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		個別支援計画書には左記の4つのねらい及び支援内容を踏まえ、作成しております。今後とも具体的な内容を設定して質の高い支援を目指して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2	各プログラムのリーダーを中心に、支援内容を立案しています。子どもの発達を鑑みながら「楽しい」と思える内容を提供しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	各プログラムのリーダーを中心に、季節に合った活動や行事を鑑みてプログラムを立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	7	現在個別活動は停止中ですが、自由時間や集団活動の中でも、職員からの適切な声掛けや、こどもの発達や心身の状態に即した役割や課題を提供するなど、個々の成長を促す工夫をしています。	今後、個別活動を再開できるよう調整して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	支援前にはスタッフ全員で個別支援計画書や配慮事項の共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	14	0	支援終了後にはスタッフ全員で集まり、支援の振り返りを行っています。その中で「今後の支援」に繋がる視点を見出しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	記録を作成して保護者様に公開しています。また、職員間のみで共有する記録も作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	2	個別支援計画書更新の際には、保護者面談を行っています。事前にモニタリングを行い、面談の際には保護者様にモニタリング内容を共有しています。	全体での話し合いの時間をさらに設けて参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	13	1	複数組み合わせ合わせて支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	0	自主活動を取り入れています。	環境設定を工夫し、さらに自己選択の幅を広げて参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	障害児相談支援事業所のご担当者様には概ねお電話にてモニタリングを行っています。その際には、活動のリーダーや児発管などが対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	必要に応じて学校や他事業所と連携をしながら支援を進めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	1	学校から配布されるお手紙等をもとに確認して連絡調整を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	3		必要に応じて情報共有を進めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	6	今年度は対象児童はおりませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	6	療育センターが主催する研修会に参加、または療育センター併用児の見学等にお伺いし、必要に応じて助言等を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	4		放課後児童クラブや児童館との情報交換を深め、インクルーシブの視点のもと、他の子どもたちと交流する機会を設けて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	4	参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	当事業所の支援の様子は、システムを使って写真添付で保護者様に公開しています。また、ご来所の際にはコミュニケーションを取りながら、保護者様との共通理解を深めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	7		今後、ペアレントトレーニングの開催を検討して参ります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	ご契約の際には、運営規定、支援プログラム、利用者負担等の説明を行っています。		

保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	個別支援計画書作成の前は保護者様とご面談を設けております。その際、保護者様のご意向や「本人希望」等を伺い、計画書に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	0	計画書作成後は対面、お電話等で説明しています。ご同意いただき支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	日頃からコミュニケーションを深めるとともに、事業所内にて「家族支援」として面談等の機会があることを周知しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	7		今現在は行っておりません。保護者会、きょうだい支援を今後検討して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		今年度は対象事業がありませんでした。ご利用者様から苦情があった場合は迅速かつ適切に対応して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	0	活動内容など、適宜ブログで配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報には施錠しているロッカーに保管するとともに、日頃から取り扱いには十分に留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	保護者様との情報伝達は、電話、メール、文章などを使っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	10		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営は現在行っていません。今後、営業時間外での施設開放を検討して参ります。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	感染症対策の「嘔吐処理」のロールプレーを行い、処理対応の訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1	BCPをもとに、防災訓練、避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	4	契約時に上記内容をヒヤリングしています。また、保護者様から適宜聞き取りなどをして確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	3	医師の指示書の提出はありませんが、保護者様にアレルギー等を確認して、食育活動の際には必ず確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	4	安全計画のもと、法定研修や委員会を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	3	広域災害時の避難場所及び情報伝達の方法など契約時に説明しています。また、計画に基づき訓練等を行い、保護者様に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	14	0	日々の支援終了後、ヒヤリハットを確認しています。	今後、ヒヤリハットを分析して再発防止に努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	年に複数回、虐待研修及び虐待防止委員会を実施して、適切な対応や関わりをしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0	身体拘束適正化委員会を実施して、「やむを得ない場合」について話し合っています。また、契約時には十分に説明して計画書に記載しています。		